2016年度

一般財団法人 語学教育研究所 「出張講師制度」講師一覧

(2016年6月20日現在。五十音順)

拡充していく予定です。

最新情報は語研ウェブページでご確認ください。

浅野 伸子(あさの・のぶこ)

所属・肩書:東京都立小山台高等学校主任教諭

経歴:都立の職業科、単位制高校等を経て現在4校 目。様々な学力の生徒を教えた経験を持つ。

平成 23 年度東京都教育研究員。平成 24 年度東京都

教師道場リーダー。

共著:「「思考力・判断力・表現力」を育成する効果的な言語活動の在り方」(『平成23年度東京都教育研究員報告』)、『ヴィスタ英和辞典』(三省堂) 雑誌掲載文:場面別 教室英語表現集 「導入(オーラルイントロダクション)」(『英語教育』2013年10月増刊号)「生徒の表現活動を手助けするということ」(『語研ジャーナル第11号』)

検定教科書: One World (高校用検定教科書「コミュニケーション英語Ⅰ」「同Ⅱ」「同Ⅲ」教育出版)

講習テーマ/内容

- 1)生徒の英語による発話をどう促すか
- 2) オーラルイントロダクションの目的と実践
- 3)様々な種類の授業における「英語による授業」の進め方

淡路 佳昌(あわじ・よしまさ)

所属・肩書:大東文化大学外国語学部英語学科(東京都内・私立)准教授

経歴:木更津工業高等専門学校講師、東京外国語大学教職課程非常勤講師(視聴覚教育担当、兼任)、 拓殖大学講師、中部大学助教授、東京学芸大学附属 世田谷中学校教諭、帝京科学大学准教授を経て現職。 共著:一般財団法人語学教育研究所編『英語指導技術ガイド Q&A』(開拓社)「自由英作文」に関す る項、『ヴィスタ英和辞典』他。

雑誌論文:「ヴィジュアルを活用してイキのいい授業を! 授業研究にビデオを活かす:撮影から検討会まで」(『英語教育』2010年6月号)、

「導入期からのライティング指導の展開」(『英語教育』2006 年 10 月号)他。

講習テーマ/内容:

1. コンピュータと英語教育、CALL

単なる流行や技術革新に振り回されないためには、現場の教師はどのようなことに気をつければよいのか、地に足のついたコンピュータやネットワークの活用方法を具体例とともに提案します。

2. 入門期の英語指導

中学校入門期ではどのようなことに配慮しなければならないか、それが後の英語学習とどのようにつながっていくかを解説し、実践例とともに入門期指導について考えてみます。

3. ビデオを用いた授業研究

授業を撮影する際のポイントとコツをまとめ、 その後にビデオを用いてどのような授業研究が できるか、語研研究グループの経験を活かして 解説します。

海崎 百合子(かいざき・ゆりこ)

所属・肩書:田園調布雙葉小学校 英語 非常勤講師、日本女子大学附属豊明小学校 英語 非常勤講師、日本女子大学文学部英文学科 客員教授 (早期英語教育教授法・早期英語教育教授法演習・早期英語教育教授法特講)

経歴:聖ヨゼフ学園小学校、川村小学校にて非常勤講師として英語を教え、この間に杏林大学とフェリス女学院大学で非常勤講師として英語および小学校英語教授法を担当。

共著:

一般財団法人語学教育研究所編『英語指導技術ガイド Q&A』(開拓社)「22. 授業の中でどのような点に注意して英語を聞かせていったらよいでしょうか」

財団法人語学教育研究所編『語研ブックレット3 小学校英語 ~子どもの学習能力に寄り添う指導方 法の提案~』

羽鳥博愛・久埜百合・海崎百合子 (編) 『WORD BOOK 音と絵で覚える子ども英語絵じてん』(三省堂)

講習テーマ/内容:

絵本の活用のしかた

数多くある絵本の中からどのような絵本を選択し、 どのような読み聞かせ方をすれば子どもに良質な インプットを与えられるか

草間 浩一(くさま・こういち)

所属・肩書: 武蔵高等学校中学校(東京都内・私立) 教諭

経歴: 勤務校の研修制度で英国 Newcastle 大学に留学、Computer Assisted Language Learning を研究。 Ph.D. 共**著**:『英検2級長文読解完全対策』(アルク)、『高 校生の英文法』(三省堂)改定作業担当、

『ヴィスタ英和辞典』(三省堂)他。

雑誌論文:「文法指導や英文解釈も視覚に訴えて」 (『英語教育』2006 年 10 月増刊号)、「ICT で英語 教育は変わる!?」(『語研ジャーナル』2014 年) 他。

講習テーマ/内容:

1) ITC をどのように授業で活用するか

プレゼンテーション・ソフトや電子黒板を どのように授業に取り入れるか、どのよう な活動ができるのか、どんなことに注意が 必要かなどをご紹介します。

2) CALL で何が出来るのか

高価な既存ソフトを使うことなく、どんなことが出来るのか、どのような費用が必要になるのか、教員の負担はどのくらいあるのか、などをご紹介します。

小泉 仁(こいずみ・まさし)

所属・肩書:東京家政大学(東京都内・私立)人文 学部教授

経歴:神奈川県立高校教諭、東京学芸大学教諭、文部科学省教科書調査官、近畿大学教授を経て現職。 近年は、各地の外国語活動を研究する小学校への訪問指導にあたる。

単行本(共著):『新しい英語科授業の実践』(金星堂)、『新英語科教育の展開・新訂版』(英潮社)、『児童英語キーワードハンドブック』(ピアソンエデュケーション・ロングマン)、『一般財団法人語学教育研究所編 英語指導技術ガイド Q&A』(開拓社)「英問英答と interaction の違い」に関する項、『小学校英語教育の展開』(研究社) 小中英語連携に関する項、他論文:「小学校英語活動における行政的課題」(吉島

茂(2004)『外国語教育Ⅲ—幼稚園·小学校 篇—』朝 日出版)、他。

雑誌掲載論文:「「英語の授業は英語で」を考える」 (『語研ジャーナル』2010 号) 他。

検定教科書: *Columbus 21* (中学校英語検定教科書 光村図書)

講習テーマ/内容:

1) 外国語活動が小学校教科になったら

小学校英語の秘める可能性と現場の実態、そして今後の方向性を論じます。教科になって変わることは何か、変わってはいけないことは何か、文字や文法の指導はどうするのか、学級担任はどう参加していけばよいのか、一緒に考えましょう。指導技術の練習もします。

2) 小学校英語と中学校英語の連携に必要 なこと

小学校の英語指導の秘める可能性と現場の実態を紹介します。さらに小学校と中学校の英語教育の特徴を両面から論じ、小学校英語と中学校英語とのギャップをどうしたら埋めていくことができるか、具体的な指導技術を紹介しながら論じます。

3) 中学校英語は今後どうなるのか

小学校英語のために英語嫌いが増えているとも言われ、一方で、音声英語に対する理解や反応は格段に良くなっているとも言われます。小学校と高校の狭間にあって3年間の中学校英語のあるべき姿を、具体的な教材を扱いながら考えてみたいと思います。

高校「英語の授業は英語で」をどうするか

高校の授業が変わることを求められています。 この変化をどのように受け止めればよいのか を丁寧に論じます。最も重要なことは生徒に英 語力を付けてやること、という視点に立って、 実際の教科書の教材を使いながら検討します。 指導を支える理念にも迫ります。

5) 検定教科書を解剖する

学習指導要領は変わっても教科書は変わらない?極めて"ガラパゴス"な日本の英語教科書を 徹底解剖します。中学英語から高校「英語表現」 まで、教科書を効果的に使う方法を探ります。 受講者の希望に応じ、特定の教科書に絞って論 じることも可能です。

小菅 敦子(こすげあつこ)

所属・肩書:東京女子大学他非常勤講師

経歴:元東京学芸大学附属世田谷中学校主幹教諭。 この間に多数回にわたり授業を公開、のべ約 100 名 の教育実習生を指導、NHK ラジオ『新基礎英語 1』 (1994~1995 年度) 講師を勤める。現在は、大学 にて教職の授業、英語指導に従事。1997 年「パー マー賞」受賞。

共著:一般財団法人語学教育研究所編『英語指導技術ガイド Q&A-授業の悩みにこたえる26のレシピー』(開拓社)「暗唱で英語の力はつくのでしょうか?」、太田洋、神白哲史、金谷憲、小菅敦子、日臺滋之共著『英語力はどのように伸びてゆくか一中学生の英語習得過程を追う』(大修館書店)「語彙サイズ」に関する項、小菅敦子、小菅和也共著『スピーキングの指導』他。

雅誌論文:「中学校ですべきこと-小学校との連携を 意識して」(『語研ジャーナル』2012年11号)、「授 業を振り返りこれからに向けて改善するための ToDoリスト5」(『英語教育』大修館書店2016年1 月号)他。

検定教科書: Genius (高校用検定教科書「英語 I 、

II 」大修館書店)

講習テーマ/内容:

1) スピーキングの指導

導入から発展的な言語活動までを通して、どの ように生徒に話す力をつけていくのか、具体的 な方法をご紹介します。

2) 中学校、高等学校の授業作り

英語で授業を行うための1時間の授業の構成と 実際、必要な指導技術等をご紹介します。

3) 授業改善

皆さんの今の授業をよりよいものにするため に、語研で実践されている様々な方法を紹介さ せていただきながら、一緒に授業改善を目指し ます。

小菅 和也 (こすげ・かずや)

所属・肩書:武蔵野大学 教育学部

経歴:千葉県立行徳高等学校、東京都立葛西南高等学校、東京都立西高等学校、お茶の水女子大学附属高等学校、拓植大学を経て現職

文部省・高等学校外国語学習指導要領改善のための 調査研究協力者 (1998-1999)

著作:『アプローチ高校英語』桐原書店(1988)

『英語指導技術再検討』(分担執筆)大修館書店 (1988)

『スピーキングの指導』(共著)研究社(1995) 『ヴィスタ英和辞典』(分担執筆)三省堂(1997) 『英語指導技術ガイド Q&A』(分担執筆)開拓社 (2014) など

『英語教育』(大修館書店)『現代英語教育』(研 究社)などの雑誌論文

講習テーマ/内容:

1) 音声中心の英語授業の展開

オーラル・イントロダクションを核とする、英語で進める英語の授業の運営について。ワークショップ的に。

2) 発音指導

個々の音素にとどまらず、中・高の現場で見落 とされがちな英語のリズム、単語間の音連結な ど、英語の発音についての基本知識と実践、お よび具体的な指導法について。

3) 高校の英語授業全般

ご要望に応じて対応します。

佐藤 令子(さとう・れいこ)

所属・肩書:東京国際大学(言語コミュニケーション学科)、国士舘大学(体育学部こどもスポーツ教育学科)、東京学芸大学(人文社会学系)、明星大学大学院(人文学部国際コミュニケーション学科)の各非常勤講師

経歴:田園調布雙葉小学校、東京学芸大学附属世田 谷小学校、暁星小学校、日本外国語専門学校児童英 語学科、国士舘大学(政経学部)、横浜国立大学(教 育人間科学部)の各非常勤講師を経て現職。

単行本:「みんなあつまれ!小学生のえいごタイム」 (アルク)

共著:「ここがポイント!小学校英語」(三省堂); 「こうして始めよう小学校英語活動」(明星大学出版);「えいごプレーラント」「はじめてのえいごプレーラント」(光村教育図書)他

雑誌掲載文:「年齢別英語教材」(文部省委託研究報告書『小学校英語教育のための教材分析』1997年);「今月のふろくをトコトン使おうー動物&アルファベット」(『子ども英語』2003年4月号 アルク);「小学校の英語教育で大切にしたいことー

インプットの果たす役割」((財)語学教育研究所「語研ジャーナル」第3号 2004年)他。

副読本:「みんなの英語 Book1~Book3」(学習研究社);「First Crown」(三省堂);「Kids Crown スタンダ・-ト、アドバンス、 プライマリーコース」(三省堂)

講習テーマ/内容:

(ア) 小学校英語で何を教えるのか

中学校へ就学する前に小学校で英語の「何を」 身につけておけば、中学校以降の英語学習に役 立つのか、子どもの学習能力を踏まえ、小学校 英語のねらいを考えます。

(イ) 学年に応じた指導法

無邪気な1年生から大人っぽさが出てくる6年 生までの6年間に、子どもたちの英語との接し 方は著しく変化します。子どもが自然にことば を習得していく道筋にそった指導法を紹介し ます。

(ウ) 文字指導について(4 技能の考え方)

アルファベット文字を読んだり書いたりする ことだけが文字指導ではありません。「読む」 「書く」前に「聞く」活動を十分に行って学習 能力の基礎をかためることが大切です。子ども の学習能力に寄り添った文字指導のあり方、4 技能の考え方を提案します。

(エ) 視聴覚教材の利用法

「えいごリアン 2000-2001 年度版」などの視聴覚教材を上手に利用して、実際にアクティビティを行い、楽しい授業作りのアイディアを紹介します。

四方 雅之(しかた・まさゆき)

所属・肩書:成蹊中学高等学校(東京都内・私立) 教論

経歴:城北埼玉高等学校教諭を経て現職。

共著:一般財団法人語学教育研究所編『英語指導技術ガイド Q&A』(開拓社)「指導技術」に関する項、『ヴィスタ英和辞典』(三省堂)、『NEW TREASURE ENGLISH SERIES』(Z 会)他。

雑誌論文:「評価のための ICT 活用法」(『英語教育』2011 年 5 月号)他。

講習テーマ/内容:

「英語で授業」を目指す初心者の方が対象です。受 講生からは「こんな簡単な方法があったのですね」 「これならできそうです」「明日から試してみます」 といった感想をいただいています。

1. 英語の問答で授業を成立させましょう 先生が一方的に英語を使う授業には魅力があり ませんね。生徒と先生が英語で対話をしながら 進めたいものです。ちょっとしたコツがありま す。一緒に練習しましょう。

2. 英語で進める授業に向いたプリント作り

音声で練習したことをいかにプリントにするか。 英語で授業を進めるのに便利なプリントはどの ようなものか。毎日無理なく作ることができる プリントを知りたい。そういった受講生の声に 応えます。

3. 生徒にどうやって練習させるか/どう やって評価するか

生徒には活発に英語で活動してもらいたいです ね。具体例をお示しします。また、その評価を しっかりすることで、いい循環ができますよ。 生徒のやる気にスイッチが入ります。効果絶大 な方法をこっそり教えます。

手島 良(てしま・まこと)

所属・肩書: 武蔵高等学校中学校(東京都内・私立) 教諭

経歴:自由の森学園中学校高等学校、筑波大学附属 駒場中・高等学校、筑波大学附属高等学校教諭を経 て現職。この間に大学で非常勤講師(英語科教育法、 英語発音演習など)を務める。NHK ラジオ『新基 礎英語3』(2002~2004年度)講師。

単行本: 『英語の発音・ルールブック』 (NHK 出版)、『通じる英語の発音ドリル』 (研究社) 他。 共著: 一般財団法人語学教育研究所編『英語指導技術ガイド Q&A』 (開拓社) 「文字指導」に関する項、『英語指導技術再検討』 (大修館書店) 「文字指導」の項、『ヴィスタ英和辞典』 (三省堂) 他。 雑誌論文: 「音読指導の前にどんな発音指導を行なえばよいでしょうか」 (『英語教育』2012 年 12 月号) 他。

検定教科書: Expressway (高校用検定教科書「英語表現1」開降堂)

講習テーマ/内容:

1. 入門期の文字指導をどう行なうか

大文字小文字 52 文字を興味を持たせて指導し、 読みやすい文字を書かせるのにはどうしたらよ いか。文字や綴りの表す発音までを含めた「文 字指導」の方法をご紹介します。

中高の授業で「フォニックス」をどう 採り入れるか

綴りと発音の指導の必要性は感じるが、どのように指導してよいかわからないという声を耳に します。中高生向けのフォニックスの指導法を ご紹介します。

3. 発音指導をどう行なうか

英語らしい発音をすることは、通じる発音に通 じるとともに、聴き取りの力の向上にも通じま す。個々の発音に加え、英語らしさの特徴である る弱音の指導についてご説明します。

永井 淳子(ながい・じゅんこ)

所属・肩書:東京都市大学付属小学校、青山学院大学(教育人間科学部教育学科)、恵泉女学園大学(人文学部 英語コミュニケーション学科)の各非常勤講師

経歴:東洋英和女学院中学部・高等学校専任教諭と して勤務後、現職。この間に、日本外国語専門学校 児童英語教育専攻科、東京学芸大学附属世田谷小学 校において非常勤講師を務める。

共著:「うたって遊ぼう 小学生の英語の歌」(小学館)、「小学校英語 教室で使える英語表現 200」(三省堂)、「ここがポイント!小学校英語」(三省堂) 他 雑誌掲載文:「小学生と異文化との出会い Game "Around The World"の実践から」(『英語教育』 2000 年 4 月号)「子どもの英語指導基本講座 この素材・この表現をこう使う」(『Kids com』 2001 年 1 月号~12 月号 アルク)「小学校における歌の指導」(『語研ジャーナル』第 5 号) 他

副読本:「Kids Crown プライマリー、スタンダード、 アドバンストコース」(三省堂)

講習テーマ / 内容:

1. 小学校で大切にしたいこと

中学校以降の英語学習の下支えとなる小学校 での英語教育の在り方、小学校でこそ体験させ たいこと、伸ばしたい力について考えます。

2. 発達段階に応じた指導内容・指導方法

小学校1年生から6年生まで、子ども達は大き く成長します。その発達段階に応じた指導内 容・指導方法を具体的な活動を通して提案しま す。

3. 歌・ライムの指導

英語のリズムを体得するのに適した歌・ライム を紹介、その指導方法を提案します。

中山 健一 (なかやま・けんいち)

所属・肩書:桐朋中学高等学校(東京都内・私立) 教諭

経歴: 勤務校の研修制度を利用して米国 Monterey Institute of International Studies に留学、MA in TESOL 課程を修了。

共著:『プログレッシブ中学英和辞典』(小学館)、『大学入試英文法問題 出るとこだけ!』(アルク)、『ドクブン 50 長文を読んで覚える英文法』(アルク)

雑誌掲載文:『STEP 英語情報』(日本英語検定協会 2009 年 5/6 月号から 2010 年 1/2 月号まで)

講習テーマ/内容:

1. 思考を促す学習活動

ただ情報を受け取るだけではなく、受け取った 情報を学習者各自が思考・想像し、その後書 く・話すという発信へつなげていくことで、英 語の技能はもとよりそれ以外の汎用的能力の 育成にもつなげたいと考えています。こうした 点を大切にした授業を考えています。

2. 生徒間の知的なコミュニケーション活動

コミュニケーション活動においては、中学生・ 高校生なりにきちんとした論理的主張ができ るかということが大切であると思います。こう した目標を持って授業運営を考えています。

3. 生徒による主体的な学び

教員が話しすぎず、学習者である生徒たちが自 分たちで学習に取り組んでいく授業を目指し ています。どうしたらそうした授業が可能にな るのかを考えていきたいと思っています。

八宮孝夫(はちみや・たかお)

所属・肩書: 筑波大学附属駒場中高等学校(東京都内・国立)教諭

経歴:埼玉県立松山高等学校、埼玉県立川越西高等学校を経て現職。この間に筑波大学で教育実習事前指導など非常勤講師を務める。

共著:一般財団法人語学教育研究所編『英語指導技術ガイド Q&A』(開拓社)中学1年の語彙の導入の項、『ヴィスタ英和辞典』『ウィズダム英和辞典』 他。

雑誌論文: 「考える、感じる英語の授業」(『新英語教育』2015 年 3 月号)他。

検定教科書: Expressway (高校用検定教科書「英語表現1」開隆堂)

講習テーマ/内容:

中高6年間一貫して授業担当してきた経験が比較的長いので、それぞれの段階でどんな点に留意して指導していったらよいか、それぞれの段階の oral introduction はどのように行えば良いか、などについて関心があります。また、教科書にとらわれず、生徒の興味を惹きつける教材の開発にも力を入れています(Nursery rhymes の活用、それぞれのレベルで読ませたい supplementary readings(サイドリーダー)など)。

Oral introduction と板書、イラスト の利用など

2. DVD と連動した supplementary readings の効果的な扱い方など

実感を伴った英語の理解とは何か、を常に考えています。

馬場 千秋(ばば ちあき)

所属・肩書:帝京科学大学総合教育センター准教授 経歴:明星大学理工学部講師、帝京科学大学総合教 育センター講師を経て現職。首都大学東京非常勤講 師として英語科教育法および教職実践演習を担当。 本務校の帝京科学大学においても、こども学部児童 教育学科の外国語活動の指導法を担当している。

共著:

大学英語教育学会監修・木村博是、木村友保、氏木道人編(2010)『英語教育学大系 §10 リーディングとライティングの理論と実践』「第9章 ライティング指導でもとめられているもの」pp.119-134、大修館書店

大学英語教育学会授業学研究委員会編(2007)『高等教育における英語授業の研究―授業実践事例を中心に』松伯社:

金谷憲編(2003) 『英語教育評価論(英語教育研究リサーチ・デザイン・シリーズ8)』河源社など。

論文:

馬場千秋(2014)「小学校・幼稚園教員養成コース における発音指導一流暢さと正確さの観点から」 AJELC Journal, Vol.4、日英言語文化学会

- (2013) 「日本人英語学習者用評価基準作成の試み-スローラーナーにも使える基準の検討」『外国語教育研究』No. 16 外国語教育学会
- (2012) 「日本人英語学習者向けの英作文評価基 準再考—TOEFL Writing Scoring Guide で採点可能 なレベルとは?」AJELC Journal, Vol.3 日英言語 文化学会
- (2011)「ライティング指導の第一歩とその評価」The IRLT Journal No. 10 (財)語学教育研究所pp. 55-62

雑誌論文:

馬場千秋(2013)「English Teaching Forum を読む: 授業を活性化させるヒント探し」『英語展望』No,121

英語教育協議会

— (2010) 「『英語表現』とライティング指導」『英語教育』第 59 巻第 3 号 (2010 年 6 月号) 大修館書店

- (2010)「もし学生全員に英語論文を書かせなければならなくなったら?」『英語教育』第 58 巻第 10号 (2010年1月号)

講習テーマ/内容:

1)中高の授業でライティング活動を取り入れていくにはどうすべきか

中高の授業でライティング活動を取り入れようと思っても、「添削が大変」「文法指導に時間がかかりすぎる」など、様々な理由で後回しになりがちです。授業内の短い時間にライティング活動をどのように取り入れるか、フィードバックをどう与えるか、などについて、ご紹介いたします。

2) 英語を不得意とする学習者へのライティング指導と評価

英語を不得意とする学習者を対象にライティング活動を行う場合、指導法ならびに評価に苦慮することが多々あります。少しでも学習者に自信をつけさせ、自分のことについて英語で書かせるにはどうしたらよいか、また、書かせたものをどのように評価するかについて、ご紹介いたします。

3) 英語を不得意とする学習者対象の授業の工夫

英語が不得意な学習者が大半を占める授業では、学習者にどのように英語に対しての興味関心を持たせるかがカギとなります。集中力の持たない学習者を目の前にして、どのような教材を用いて、どのような言語活動を行うべきか、ご紹介いたします。

藤井昌子(ふじい・まさこ)

所属・肩書:文教大学文学部英米語英米文学科(埼 玉県・越谷市)非常勤講師

経歴:埼玉県下の公立高校の英語教師を経て、埼玉県立総合教育センター外国語担当指導主事、大宮 光陵高等学校教頭、草加南高等学校長を歴任し、 現職に至る。

初任者研修、5年次研修、教員免許状更新講習、「英語力を強化する指導改善の取組」の指定校 (文部科学省指定)、などなどの指導にあたって 来ている。

共著:

『言語活動成功事例集』 (開隆堂)

『続・言語活動成功事例集』 (開隆堂)

『新・言語活動成功事例集』(開隆堂)

『英語科教育実践講座・6 巻』(第2章スピーチコミュニケーションの指導計画)(ニチブン)

『ヴィスタ英和辞典』 (三省堂)

『英語指導技術ガイド Q&A』(開拓社)「効果的な多読の指導」

雑誌・論文:

「英語 II C の指導—Guided Composition の試み」 (埼玉教育賞受賞) 1985 年

「初任者研修一 受ける立場・教える立場」『英語 教育』1998 年

「メッセージを生み出すライティングの指導」『英 語情報』1998 年

「英語教師バッシングに応える」『英語展望』1998 年

検定教科書:

NEW STEP ENGLISH I ・II (一橋出版) SPIRAL ENGLISH I ・II (一橋出版)

ACTIVE ENGLISH READING (一橋出版)

講習テーマ/内容:

- 1. オーラル・ワーク中心の授業の進め方
- 2. コミュニケーション重視の授業の進め方
- 3. 発問の工夫によるスピーキングの指導
- 4. 効果的な多読の進め方

などなど

山崎 勝(やまざき・まさる)

所属・肩書:埼玉県立和光国際高等学校教諭

経歴:埼玉県の2校の公立高校を経て現職。

共著:『CLIL GLOBAL ISSUES』(三修社)

雑誌論文:「CLIL を使った「異文化理解」の授業実践と課題(『英語教育』2013 年 6 月号)、「Oral Method による CLIL の実践」(『語研ジャーナル』第 10 号)

講習テーマ/内容:

1. 題材内容中心のオーラル・イントロダクション

英語で英語の授業を行う場合、教師が一方的に 英語を話すのではなく、生徒の英語の使用を増 やしたいものです。教科書の「題材内容」につ いて生徒から発言を引き出し、生徒にたくさん 英語を使わせる「導入」の設計の仕方をご紹介 します。

2. 聞く・話す活動から書く活動へ

オーラル・イントロダクションにより生徒の発言を引き出し、それをもとに書く活動につなげる授業展開を考えます。教師によるコントロールを徐々に緩めて、生徒に自分の言葉で書かせる指導方法を提案します。

3. オーラル・メソッドによるクリルの実践
CLIL (Content and Language Integrated
Learning 内容言語統合型学習)を構成する枠

組は 4C と呼ばれる Content (内容)、 現 **!・!!」の授業の進め方** Communication (言語)、Cognition (思考)、 Community (協学) です。 語研が提唱する Oral Method の指導技術を基礎に、CLIL の4つの C を満たした授業の組み立てをご紹介します。

4. 「協調学習」を英語で行うための指導技 術

協調学習 (Collaborative Learning) の授業で 生徒に英語を使用させるために、教師が共有で きる指導技術について提案します。

吉田 章人(よしだ あきと)

所属・肩書:日本女子大学附属高等学校 (川崎市内・ 私立)教諭

経歴:現職に加え、2005年~2013年まで日本女子 大学 英文学科非常勤講師として「英語科教育法Ⅱ・ Ⅲ」「英語教育演習」「教職実践演習」を担当

共著: 検定教科書 New ONE WORLD Communication I · II · Ⅲ (教育出版)

雑誌掲載文:「高校における音読指導」(『語研ジャー ナル 第5号』) 「授業を実際のコミュニケーショ ンの場面とするために必要なこと」(『語研ジャーナ ル 第9号』)「高等学校における Japan Standard の 活用」(『英語展望 No.121』)

講習テーマ/内容

1. 高等学校におけるオーラルイントロダ クションを中心とした授業展開

高等学校検定教科書「コミュニケーション英語 Ⅰ・Ⅱ」を用い、題材中心のオーラルイントロ ダクションから始まる4技能を統合した授業展 開について、実演を交えながらワークショップ 形式でご紹介いたします。

2. 「話す力」・「書く力」を高める「英語表

高等学校の科目である「英語表現Ⅰ・Ⅱ」の授 業展開の一例をご紹介いたします。スピーチ・ エッセイライティングを最終目標に定め、英語 で話す力と書く力を伸ばす授業を、「年間のシ ラバス作成」、「授業展開」、「評価」の3つの側 面からワークショップ形式で解説いたします。